

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0173000233		
法人名	有限会社 クレインサービス		
事業所名	グループホーム ふれあい・ふらの		
所在地	〒076-0034 北海道富良野市北の峰町17-10 (電話) 0167-22-2323		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成19年6月26日	評価確定日	平成19年8月7日

## 【情報提供票より】( 19年5月21日事業所記入 )

### ( 1 ) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年4月28日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 6.8人

### ( 2 ) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1~2 階部分	

### ( 3 ) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	・1階 30,000円 ・2階 33,000円		
その他の経費(月額)	・水道光熱費 19,000円 ・暖房費 8,000円(11月~4月)		
敷金	(有)(1階30,000円 2階33,000円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

### ( 4 ) 利用者の概要( 5月21日現在 )

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	6名	要介護4	5名		
要介護5	1名	要支援2	名		
年齢	平均 81 歳	最低	67 歳	最高	90 歳

### ( 5 ) 協力医療機関

協力医療機関名	川村整形外科 富良野病院 北の峰病院 藤堂歯科医院
---------	---------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

富良野スキー場近くのホテル、ペンション、木々に囲まれた観光地の中にあるグループホームである。毎日の散歩に行くのにとっても恵まれた環境にあり、生活を豊かにしている。敷地内に広い畑や花壇があり、楽しみの一つになっている。医療法人が母体なので、医療面では連携が取れている。若いスタッフが多く仲もよいので若々しい活気が感じられる。できるだけ家庭にいる雰囲気でもらいたいと、一人ひとりの希望にあわせ入浴は毎日入れる体制を整えている。地域との結びつきも徐々に行われており、更なる交流を期待したい。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題として、グループホームの地域への浸透が上げられていたが、これから運営推進会議の開催などを通して徐々に啓発に取り組もうとしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価の調査項目を作成して、管理者がそれをまとめて作成している。評価をサービスの向上の機会としてとらえ、これからの業務に活かそうとしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>訪問調査日現在では、行われていなかったが7月に開催予定ということであった。運営推進会議を通して地域との交流を構築しようとしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>職員の対応が優しく、面会に来られた家族が意見を言いやすい雰囲気なので、コミュニケーションがよくとられその都度、対応されている。声かけや便りの活用で、利用者の様子を知ってもらい家族と共に質の向上を図ろうとしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>周囲に住宅が少ないので、地域との連携がとれにくい環境であるが、花壇の手入れの時などに近所の方から、アドバイスを受けるなど少しずつ交流が生まれている。さらに、広報や回覧板、地域の幼稚園等との交流、ボランティアの受け入れなど、地域との連携やグループホームの啓発に取り組むことを検討している。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心穏やかにありのままに、その人らしく生活がおくれることを保障します」を理念とし、ホールやスタッフルームに掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は目につきやすいところに掲げている。全職員が理念を共有するように、これから理念の啓発と実践に取り組もうとしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して総会、清掃活動、神社祭りに参加している。花壇の手入れの時、談笑しながら指導してもらっている。		更に、地域交流を深めるために広報、回覧版などを活用され、幼稚園等との更なる交流やボランティアの受け入れなどを検討されることを期待する。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	少しでも全職員に、評価の意義を知ってもらうために全職員で自己評価を作り、管理者がまとめた。管理者は評価の意義や具体的な改善に取り組もうとしている。今後は全職員が自己評価、外部評価の意義を理解し活用されケアの向上に役立たせることを期待する。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	7月中頃に、第1回目の運営推進会議が開催予定で現在メンバー、開催日を調整中である。		運営推進会議を通して地域の方にグループホームのことをよく知ってもらう機会と認識し、開催できるように積極的に働きかけることを期待する。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	富良野市主催の地域ケア講座等に積極的に参加したり、市へ現状報告を行っている。また高校生の体験学習を受け入れている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月1回、定期的に写真と文章の便りと、金銭管理の報告を行っている。また、家族の面会時に日常の様子ができるようにホールに写真を掲示している。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見箱を玄関に設置しており、現在まで1件苦情があったが速やかに対応している。また、家族が面会時に直接職員に意見を言いやすい雰囲気なので、気軽に意見を出されその都度対応している。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	両ユニット間の異動はあるが、日頃から両ユニットに顔をだしているため、利用者が馴染みの顔と受け入れている。職員間の関係は良好で、また本年度は離職者がいなかった。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症に関する研修は申し込んでいるが、抽選に外れることが多くなかなか全職員が参加することはできない。しかし、出席した職員が研修後に報告している。</p>		<p>施設長、管理者、運営者で年間計画をたてて職員がケアのサービス向上に役立つような外部研修や内部研修を計画することを期待したい。認知症の理解を全職員が共有できるように、継続的な実施を期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同一事業所の中で施設長、管理者は交流、意見交換を行なっているが、職員間の交流はなかなか機会がなかったため、今後、交流を図り情報交換を行なっていく予定である。</p>		<p>職員が他の法人施設と交流できるように調整し、富良野市だけでなく他の市町村の事業所を訪問し情報交換をし今後のサービスの向上や事務の簡素化に役立てることを期待する。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービスを提供する前に管理者が、家族や利用者にホームについて十分説明し入居に際して馴染めるように居室を工夫したり、帰宅願望の方には家族に面会にきて頂き少しでも納得して頂けるように工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と利用者は一緒に食事をし、茶碗ふき洗濯たたみなど手伝ってもらい共に生活している。トマトの水やりや金魚のえさやりなど、それぞれ役割を持っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を採用し、一人ひとりの過去の経歴や本人の希望、嗜好を把握し利用者に合った支援ができるように介護計画をたてている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を採用し、本人の希望を把握している。しかし、介護計画は計画作成担当者が作成し、職員や家族に了承を得ている。</p>		<p>介護計画の作成からご家族の意見や、希望を聞ける場を積極的に設け、職員からの意見もとりにいれていくことを期待する。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1ヶ月に1度のモニタリング、3ヶ月ごとの介護計画の見直しを行なっている。状態変化があったときは、その都度家族と話し合いながら介護計画を変更している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の希望で通院介助や買物、散歩、馴染みの床屋などに同行したり、髪を切りたいと頼まれれば、職員が切ることもある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>経営者が医療法人であるため、気軽に医師が施設に来てくれる。医療機関受診時には、施設でつけてりいるバイタル記録表を提供するなど連携がとれている。定期的に受診も行っており、予防接種の時は看護師が施設に来てくれる。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人、家族、かかりつけの医療機関と連携をとっていく体制は整っているが、重度化した場合や終末期にどのように過ごされるか家族との確認書はまだ作成されていない。</p>		<p>今後重度化したときや、終末期のあり方について家族との確認書を作成したり、職員間で方針を共有できるように話し合っていくことを期待する。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報などの書類は、鍵付きの書棚にいれ保管している。全職員が、利用者の一人ひとりの尊厳を大切にして言葉遣いなどを心がけるように管理者は指導している。</p>		<p>更に、全職員が理解し、実践するために接遇の内部研修を実施したり、トイレや居室を開けて使用したい利用者のために、暖簾などの工夫を検討されることを期待したい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの希望に合わせ、毎日入浴できる体制が整っており食事もその人の状態に合わせておかゆや麺にしている。買物や散歩など本人の希望に合わせている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者はそれぞれ自分の能力や興味に応じて準備や片付けを手伝い、職員と一緒に食事をしている。それぞれの状態に合わせおかゆや麺を用意している。介助の必要な人にはさりげなく援助している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせ、毎日入浴したい人には毎日入浴できる体制を整えている。入りたくない人も、その日入らなくてもいつでも入れるので自由にしている。また、身体状況に合わせてながら入浴介助が行なわれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	トマトの水やりや洗濯物たたみ、金魚のえさやりなど役割が持てるよう支援している。又、散歩や塗り絵、花壇、野菜作り、歌番組のビデオなどを楽しみとしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物、祭り（へそ祭り等）の見学や外食など利用者の希望に沿って出かける機会を作っている。冬場は外出の機会が少ない。		冬場はどうしても施設内に閉じこもりがちなので、スーパーに買物にでかけたり外食などしたり、出かける機会を作り、又天気の良い日は短時間でも外気浴を行うことなど検討されることを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	オートロック式で自分で解除ボタンを押して開けるようになっている。		オートロック式のメリット、デメリットについて検討し、認知症が進んで操作が難しくなった時のことも考慮されることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	職員、利用者が速やかに対応できるように年2回火災避難訓練をしており、また緊急連絡網も整備されている。		隣近所に声かけをして、災害時のときに援助が届くように協力を構築されることを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	毎日、水分の摂取量や食事の量などを記録し職員で共有している。それぞれの状態に合わせて、栄養が偏らないようにしながら、カロリー制限や病状の改善のための管理がなされている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	施設内はバリアフリーとなっており、採光も充分採り入れられ居間から畑や花壇が見渡せ開放的である。居間兼食堂にはテーブル、椅子のほかソファも置かれ寛げる雰囲気である。ホームには季節の花や飾りがしてあり、季節感をだしている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には利用者の馴染みの物が置かれ、ベッドが嫌いな方には床に布団を敷いて寝てもらい家庭的な雰囲気である。各居室には洗面所がついており、居心地よく過ごせるようになっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。